



校長室だより 足立区立第九中学校

第10号 令和2年6月23日発行 佐藤 豊



本日から一斉登校が始まりました！

分散登校期間も19日（金）で終わり、昨日より一斉登校が開始されました。本校でも足立区の新型コロナウイルス感染症関連の対策・対応の決まりを守り、教育活動を再開いたしました。しかし、新型コロナウイルスが完全に収束したわけではありません。学校で発生することは極めて少ないと思われませんが、市中で教職員や生徒が感染することも考えられます。細心の注意を払い教育活動に当たりますが学校を再開する以上は、ウイルスが持ち込まれるリスクがあることは、想定しておかなければならないと思います。そうならないためにも、生徒本人だけでなく、ご家庭でも健康観察を継続して実施いただきますようお願いいたします。また、新型コロナウイルス感染症との診断を受けた、もしくはその疑いがあると分かった場合や、濃厚接触の疑いがある場合は、感染拡大防止の観点から、速やかに学校に連絡をお願いいたします。引き続き保護者の皆様のご理解のうえ生徒を登校させていただきますよう、ご協力をお願いいたします。



【一斉登校の様子】



【手洗い指導の様子】



【上履き消毒の様子】



【リモートや分散、学級でのガイダンスの様子】



【給食の様子】

育休代替え教員の紹介

北原 翼先生の第2子が6月10日にお生まれになり、育児休業を3月31日まで取得することになりました。6月22日より代替え教員として田中 昭裕先生をお迎えしましたのでご紹介いたします。

初めまして。今回、第九中学校に参りました田中です。今年は、いつもとは違う年度初めとなってしまいましたが、皆さんの明るく前向きな姿勢が明るい一年に変えてくれると信じています。頑張っていきましょう。

ICT 教育の推進 (分散登校中の授業の様子)



新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、多くの小中高校大学で休校が続きました。一方、休校ではない自治体もあり、教育格差が広がることを心配している生徒や保護者は多いはずです。文部科学省の調査（4月21日）によると、公立小中高校などを休校にした自治体のうち、双方向のオンライン授業ができている自治体はわずか5%だといいます。オンライン授業とは、インターネットに接続されたパソコンやスマートフォンを使って、教員が講義を行い、学生が受講することによって、講義室に集まらなくても授業が行えます。教材や講義ビデオを配信したり、学生の提出物を回収したり、教員と学生の間でテキストチャットや音声を使って意見交換をすることもできます。ではなぜオンライン授業が遅々として進まないのでしょうか。それは、すべての家庭にスマートフォン・タブレット・PCなどがあるわけではなく、Wi-Fi環境がない家庭もあります。また、学校側に配信するだけのインフラが整ってなかったり、セキュリティ上の問題でウェブ会議サービスにアクセスできなかったり、教員にノウハウがなかったりすることが、課題となっているのです。でもよく考えてみれば、日本の授業といえばチョークで黒板に板書が定番だった時代から、生徒がタブレットとディスプレイを無線LANでつないで映像を自由に投影する時代になってきたのです。今回の緊急事態が発生するまでは日本の教育は世界で注目を集めていました。全国の約9割の学校が休校となってしまった状態になり日本の教育の弱点が浮き彫りになってきたのです。こんな事態だからこそ、ピンチをチャンスに変えて世界に通用する教育改革を推進していかなければならないと痛感しています。

本校でも、全教員でICT教育を充実していけるように研修を推進して参ります。

読書のすすめ

図書室が昼休みと放課後の貸出だけですが再開されました。校長室だよりで紹介した本を、図書館支援員の内海朝子さんが図書室に配置してくれました。まだ、読んでいない人はこの機会に借りて読んでみてください。

佐藤多佳子さんの「一瞬の風になれ」という小説。走ることのおもしろさや協力することの大切さが味わえると思います。三浦しをんさんの「風が強く吹いている」。箱根駅伝への出場を果たす話です。サッカー全日本代表の長谷部選手が書いた「心を整える」。自分を高めるという観点から紹介したいと思います。吉野源三郎さんの「君たちはどう生きるか」です。中学生であるコペル君の成長を描いた物語です。世の中の仕組みや、いじめ、貧困、偉大さなどといったものを、彼が実際に体験しながら、学び、そして成長していくという小説です。



